

聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール

聖母の小さな学校

2015年

10月1日発行

第112号

勇気を出して、不登校の自分に触れてみよう！

～ スポーツフェスタに向けて ～

美しく実った稲穂が頭を垂れ、実りの秋を迎えました。平素は、聖母の小さな学校の教育にご理解、ご支援をいただき、深く感謝いたしております。

1学期の終わりに城北中学校の「夢プロジェクト」の呼びかけに覚え、中学校と本校の生徒が協力して植栽した「藤袴」が開花し、他の地域より遅れましたが、9月28日午前10時に待ちかねたアサギマダラ一頭が飛来しました。早速に城北中学校に報告し、生徒たちも初めて見るアサギマダラに感動いたしました。

さて、生徒たちは、10月10日（土）のスポーツフェスタに向けて、一生懸命準備をしております。テーマを決めるために、自分自身が学校に行きづらくなった頃からの事を言葉にし、今の自分、そのままの自分に向き合う作業を続けてきました。こういうことができるようになったのも、3名の生徒が聖母に通うのが楽しいと言えるようになったからです（ここまでに1年近くかかります）。生徒たちは「不登校になって、自分が何も持っていない＝空っぽの自分になって、必死でその『空』を埋めようとした、色々とするのだけど、絶対に埋まらないことに気づいた」と言います。そして、絶望し、ひとり暗い闇の中へ入っていく。そういう苦しい時を経た自分を少し見ることができました。テーマは、次のように決まりました。

自分の全てを否定した。
死にたくなる程、苦しかった。
そして、誰も気づいてくれなかった。
現実の自分から逃げた。でも、逃げる事は無理だった。
現実の自分を少し見た。苦しくなった。また少し見た。
苦しいけれど、安心できた。
人と共に、聖母でこの事を学んだ。
苦しくても、生きていきたい！

生徒たちにとり、スポーツフェスタは自分に出会うチャンスです。自分と和解するチャンスです。この作業をしている生徒ひとりひとりを温かく、希望へと導きたいと思います。又、保護者も、子供を支え、子供がしているように「自己に留まり、見つめ、内から出てくる自身の声」に気づいていただけたら、うれしいです。これが子供を温かく見守る、ということです。

この3名の通学生、5名の相談生、その他多くの不登校の子供たちの事を心に留め、応援してやってくださいますよう、お願い申し上げます。

< **スポーツフェスタのご案内** >

日 時：10月10日（土）9：00～12：30

場 所：聖母の小さな学校グラウンド

※ 雨天でも実施します。ただし、会場が
由良川小学校体育館
となりますので、ご注意ください。